

青楓山バイパスの早期完成を

関係機関と連携し要望したい



堰野端 展 雄
(高志会)

調査、環境調査、トンネルの設備設計、支障物件移転補償で一部改良工事に着手すると伺っています。当事業は工事期間の長期化が予想されますが、十和田湖観光の起爆剤として期待できることから、今後は一刻も早い完成を関係機関と連携しながら強く要望していきたいと考えます。

議員 ロコモティブ症候群のことはまだまだ知られていない現状と思われるが、予防や周知についての取り組み状況は。

健康福祉部長 ロコモティブ症候群とは、運動器の障害のために自立度が低下し、介護が必要となる危険性の高い状態をいうものです。当市では介護予防対策として湯っこで生き生き交流事業や運動器の機能向上事業などに取り組んでいます。また、周知については、老人クラブや町内会等での健康教室や出前講座などで啓発に努めています。まだまだ認知されてい

議員 当市ではこれまで自然環境保護や観光客等の通行車両の安全確保のため、青楓山バイパスの早期完成を国・県に対して強く要望し、昨年ようやく国の直轄事業として進むこととなったが、今年度の事業内容は。

建設部長 今年度は地質

い状況にあると思われる。認知度を高めることは要介護者の減少、ひいては健康寿命の延伸へと結びつくことから、継続して周知等に努めたいと考えます。

議員 湯っこで生き生き交流事業のこれまでの利用者数と、そのうち男性の参加者数は。

健康福祉部長 利用状況については、毎年延べ約一万七千人が利用しており、過去三年間はほぼ横ばいで推移しています。そのうち男性の参加者ですが、昨年度は七百十八人、率にすると四・二%となっています。



毎日少しずつの運動が大事

全国市議会議長会表彰

去る5月28日に東京都で開催された、全国市議会議長会第90回定期総会において、6名の議員が表彰されました。今定例会の開会日に、議長から表彰状が伝達されるとともに、市政発展の功労者として市長から表彰状が授与されました。



在職30年以上 特別表彰 野月一博議員



在職10年以上 堰野端展雄議員



在職15年以上 (左から)
石橋義雄議員 田中重光議員 今泉勝博議員 工藤正廣議員